

ハマナスハタマバチ

夏にハマナスの葉裏に直径5～7mmの丸い虫こぶを作る。中にウジムシ（幼虫）が1匹いる。



1. 虫えい。1986/5. 美唄市, 温室のハマナス。 2. 虫えい。1の拡大。

【学名】 *Diplolepis japonicus*

【分類】 ハチ目 (Hymenoptera) , タマバチ科 (Cynipidae)

【生態】

宿主：ハマナス。

年1世代。成虫は5月下旬～6月上旬に羽化する。卵は葉裏に産み付けられる。1枚の葉に多数の虫えい（ちゅうえい、虫こぶ）がつくこともある。虫えいは緑色、日当たりがよいと秋に赤くなる。虫えいは秋に地上に落下し、その中で幼虫は越冬する。

【被害と防除】

温室や公園などのハマナスに発生することがある。実害はないが、気になるときは手で取り除く。

【文献】

*1983. 上条一昭, 駒井古実, 鈴木重孝. ハマナスを加害する害虫. 光珠内季報, 55: 17-21. (生態)

*の文献は北海道立林業試験場ホームページの「北海道立林業試験場・研究成果文献データベース」で見ることができます。

北海道立林業試験場・緑化樹センター

ハマナスハタマバチ tamabach/hamatama/
kaisetu.htm

「文章」 原秀穂, 北海道立林業試験場, 2001/8/3.

1kobu1.JPG, 1kobu2.JPG

